

高津第一地区

社協ニュース

第49号

発行日 平成28年4月1日
 発行人 高津第一地区社会福祉協議会
 会長 川 辺 清 三
 高津区溝口1-6-10 てくのかわさき 3F
 TEL 044-812-1879 FAX 044-812-3549



久地のかすみ堤

笑顔でつなぐ久地の絆

久地小学校校長 木村 守



日頃より高津第一地区社会福祉協議会・地域の皆様には、学校へのご理解とご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

50周年を迎えた久地小

皆様のお陰をもちまして、平成 28 年度本校は創立 50 周年を無事迎えることとなりました。心より御礼申し上げます。



シンボルマーク

すでに学校におきましては、一昨年度より 50 周年記念事業委員会様とともに、本年 11 月 19 日（土）に行われる記念式典に向けた準備を進めてまいりました。昨年子どもたちとともに 50 周年記念スローガン「これまでも これからも笑顔でつなぐ 久地の絆」とシンボルマークを創り上げました。これは、先輩たちが築きあげた久地小の歴史を大切に引き継ぎ、後輩たちにしっかりとバトンをつないで行くのだ、という強い思いが込められています。この思いの込められたスローガンを横断幕にし、12 月には校庭の防球ネットに設置いたしました。学校へおいでの際はぜひご覧下さい。

その他にも、記念事業として地域学習資料「久地の里」や「記念誌」の作成も進めているとこ

ろです。先日資料作成のため創立 20 周年記念誌を開く機会がありました。そこには開校当時の様子が次のように記されていました。「校舎は近代的設備の整ったものでしたが、校庭は整地されておらず一たび雨が降ると、沼田と化し何日も使えませんでした。（中略）また、校庭には木々が一本もなかったため植樹作業も保護者が行いました。」さらに、初代 PTA 会長故上形泰文様のご挨拶の中には、「雨の後は必ずといってよいほどぬかってしまう運動場。近くの建材店主さんが、朝駆けにトラックに満載した砂を黙っておいていって下さる。その砂を一面にならす建設会社の社長さんの配慮。・・・」と記されていました。まだまだ、たくさんの方々のお力添えがあったことがその後にも記されています。

ろです。先日資料作成のため創立 20 周年記念誌を開く機会がありました。そこには開校当時の様子が次のように記されていました。「校舎は近代的設備の整ったものでしたが、校庭は整地されておらず一たび雨が降ると、沼田と化し何日も使えませんでした。（中略）また、校庭には木々が一本もなかったため植樹作業も保護者が行いました。」さらに、初代 PTA 会長故上形泰文様のご挨拶の中には、「雨の後は必ずといってよいほどぬかってしまう運動場。近くの建材店主さんが、朝駆けにトラックに満載した砂を黙っておいていって下さる。その砂を一面にならす建設会社の社長さんの配慮。・・・」と記されていました。まだまだ、たくさんの方々のお力添えがあったことがその後にも記されています。

ろです。先日資料作成のため創立 20 周年記念誌を開く機会がありました。そこには開校当時の様子が次のように記されていました。「校舎は近代的設備の整ったものでしたが、校庭は整地されておらず一たび雨が降ると、沼田と化し何日も使えませんでした。（中略）また、校庭には木々が一本もなかったため植樹作業も保護者が行いました。」さらに、初代 PTA 会長故上形泰文様のご挨拶の中には、「雨の後は必ずといってよいほどぬかってしまう運動場。近くの建材店主さんが、朝駆けにトラックに満載した砂を黙っておいていって下さる。その砂を一面にならす建設会社の社長さんの配慮。・・・」と記されていました。まだまだ、たくさんの方々のお力添えがあったことがその後にも記されています。

地域に信頼され続ける学校

まさに、開校時から久地小学校は地域の方々、保護者の方々のお力に支えられていたことが伝わってきます。その思いがあったからこそ、今があるのだと改めて感じました。

これからも、久地小学校が地域の皆様に愛され信頼され続ける学校として発展していくように進めて参ります。そして、久地小を巣立つ子どもたちが地域を愛し母校に誇りをもつことができるように「これまでも これからも笑顔でつなぐ 久地の絆」を合い言葉に、子どもたちとともに進んでまいります。

活動報告

元気で、笑い一杯の「福寿草の会」



第164回

9月3日、61名が参加。敬老の日にちなみ、お赤飯をいただきました。食後のアトラクション



でないとこまではネ・・・。」などと話しながら、坂道を登り、階段をおり、カルガモが寝ているそばをそっと通り過ぎ、全員そろって「けやき広場」に到着。

紅葉をめめながら、車座で老人クラブの方々との会食・交歓がはずみしました。予定を少し延長し、次回は「桜の花のもとでお会いしましょう」との会長挨拶で解散になりました。

では、高齢者等の相談窓口の地域包括支援センター溝口スタッフから、振込詐欺への注意と健康体操の指導がありました。頭の体操では、「後だしジャンケンで負けましょう」との指示に、「あらあら、わたし勝ってしまったッ」など、皆さんが大笑いされる会食会でした。

第166回

11月5日、59名が参加。会食の後、大道芸で地域に笑いをはこぶ「荒智さん」の身ぶり手振りに、拍手喝采。トランプのマジックに、「あれー?」。風船マジックに「エー!」。サイコロ積みでは「おおー 出来た」など、驚きと拍手と笑いが渦まいたアトラクションで楽しみました。

第165回

「秋の歩こう会」

64名が元気に7,800歩を!



10月23日曇、10時、下作延小学校校門前に集合し、東高根森林公園を目指しました。「健康がなによりですネ。毎日運動しないと買い物に行けなくなりますネ。こうした機会



研修会で活動事例を発表

11月16日、てくのかわさきホールで行われた高津区社会福祉協議会(区社協)の研修会で、高津第一地区社会福祉協議会(第一地区社協)が取り組んだ救急救命講習会について発表しました。

区社協は、4地区社会福祉協議会で構成され、各地区社協でそれぞれ特色ある活動を行っています。各地区の取り組みを学びあう目的で、区社協研修会を毎年開催しています。当社協では、第15回普通救急救命講習会(昨年5月実施。本ニュース48号で報告)の活動を、発表しました。

満員の会場で、救命講習会開催の目的である「救える命を救おう」の趣旨や16年に及ぶ活動内容、延べ約400名を超える「市民救命士の誕生」など、動画を交えた映像で、わかりやすい発表でした。発表後、参加者から、「活動内容への共感や動画があって分かり易かった」など称賛の声が聞かれました。



第9回 くじふれあいまつり

・・・地域包括ケアシステムの一翼を目指して・・・

11月28日(土)午前10時より、溝口・久地・宇奈根地区を対象に、くじ老人いこいの家運営委員会とくじ保育園の主催で、「くじふれあいまつり」が開催されました。

その内容は、

- 展示コーナー：書道、絵手紙、編み物・ペン習字(いこいの家教養講座) 絵・工作(くじ保育園)
- 演芸大会：健康体操、詩吟、日本舞踊、フラダンス、住まいの防犯・振り込め詐欺等講話、園児による演芸発表
- つくろうコーナー：紙ヒコウキ・牛乳パックこま・蝶々ひらひら
- あそぼうコーナー：かざぐるま・おりがみ・たけとんぼ
- 手作りバス：「なまちゃん号」に乗ろう、など楽しい企画がいっぱいでした。



会場は、隣の久地ふれあい公園と一体となり、多くのお年寄りや園児と一緒に遊んで、楽しい一日を過ごしました。

川崎市では、「一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして」を掲げて、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。平成30年3月末までその土台作り、平成37年には、「住み慣れた地域や望む場で、安心して暮らせる地域の実現」を目指します。

「くじふれあいまつり」の運営体制や運営方法・内容は、このケアシステムの目指していることを備えているように思います。

行政をはじめ、地縁組織、ボランティア団体等の協力で、地域の社会資源を集めて、地域包括ケアシステムの一翼を担えるように多くの人々の協力が望まれます。

小竹正美さん 川崎市社会福祉協議会より受賞



平成27年10月27日、川崎市総合福祉センターで、第53回川崎市社会福祉大会が開催され(主催 川崎市社会福祉協議会、川崎市)、当社協の小竹正美副会長が、社会福祉活動に長年貢献されたことにより、会長表彰を受賞されました。

くらしのセミナーを実施

11月20日、くじ老人いこいの家で「住いの防犯対策・災害に備えて」をテーマに、当社協の研修会が開催されました。

講師は、パナソニックエコソリューションズ社の額田育雄氏。災害に備え、「医薬品・ラジオ・飲料水や食料・生活用品を準備し、避難場所・連絡方法・役割分担を話しておくこと」など自助が大切。これらが、いざという時に役立ちます、とのこと。皆さんのお宅では準備OKですか?また、地震の時は、あわてずまず身の安全を確保し、その次に消火を。避難する時の足のケガの防止に、靴下を身近に置くなど、いざという時の心構えと用意を学びました。

麻薬・覚せい剤撲滅キャンペーン

11月24日、溝の口キラリデッキで高津区保護司会(赤津会長)は、警察官、少年補導員の人々とともに「麻薬・覚せい剤撲滅キャンペーン」を実施し、チラシや配布物を行き交う人々に渡し、麻薬・覚せい剤乱用防止を訴えました。薬物乱用は犯罪です。誘惑はいたる所に存在し、魔の手は手をかえ品をかえ突然襲ってくるので、勇気をもって断ることが大切です。心や身体を蝕み、やがて破壊させる怖さ。「一回だけなら」という気持ちが、あなたの一生を台無しにします。買わない、使わない、絶対かわらない!



新田町会を訪ねて

今回は久地地区の新田町会を訪問。町会長の上形泰俊（養周院住職）さんを訪ね、お話を伺いました。

新田町会の地域と概要をお聞かせください

久地3丁目周辺。西はガソリンスタンド辺りから旧タマレイ辺りまで。北は北部工業団地、東は平瀬川までのエリア。400世帯以上になります。

マンションや戸建てが建設される時、事前に業者と掛け合い重要事項説明書等に町会入会を明記して貰うことで、新築時に話がし易く、確実に町会入会してもらえます。それでも町会未加入のマンションもあります。

町会活動の様子をお聞かせください

毎週日曜日夜8時から30分程パトロールを行っています。7年前から毎回20人程の参加で2班に分かれて行っており、防犯効果があります。街灯はすべてLEDに替え、明るくなりました。

定例会は、毎月5日に班長、役員が集まり、行政からの配布物や連絡等を知らせています。年間開催は10回ほどになります。



募金

賛助会費と共同募金の報告

各町会の会員の皆様のご協力により高津第一地区社会福祉協議会に寄せられた賛助会費（7月）と共同募金・年末助け合い募金（10月～12月）の集計結果を報告いたします。ご協力いただきました皆様に感謝を申し上げますとともに今後ともよろしく願いいたします。



賛助会費 **1,216,000円**

共同募金（戸別募金）（単位 円）

町会名	共同募金	年末助け合い
溝口	934,300	817,350
久地	524,110	405,310
宇奈根	91,991	100,000
合計	1,550,401	1,322,660

ご寄付をいただきました篤志家の方、ありがとうございました。

住民活動として、年2回、府中街道沿いの草むしり等美化運動を行っています。ちょうど秋祭りの前週になるので、清々しい気持ちで祭りを迎えることができます。

住民の構成は、長年住んでいる方々と新たに転入された方々がほぼ半々です。両者のコミュニケーションが大切であり交流を深めるため、花見会や梅林公園での体操や草むしりを行っています。

また、秋祭り時に当寺（養周院）の駐車場で、子ども会が模擬店を出し子どもが集まります。久地小学校とタイアップ（おやじの会）してBBQ（バーベキュー）や夏の素麺流しなどを行っており、寺内で体験学習として、子ども達に座禅会や茶道等教えています。

そのほかフェイスブックを立ち上げ、市・警察からのお知らせ等周知するため、町会長はじめ担当者が随時更新しています。例えば、インフルエンザの流行の兆しとかオレオレ詐欺等住民に注意を喚起することができます。

今後の課題、問題点をお聞かせください

町会入会の確保、住民交互の交流等はじめ、防犯対策です。また、これから高齢者が増加する傾向にありますので、社協と連携しながら見回りをしなくてはならないと思っています。

（どうもありがとうございました）

社会福祉協議会（社協）とは？ 高津区社協は、民間の社会福祉団体です。自治会、民生委員児童委員、ボランティア、当事者団体、福祉施設などの会員で構成されており、互いに協力・連携して地域福祉の推進に取り組んでいます。

賛助会員とは？ 社協の事業に賛同し、資金面で社協の活動を支援する会員のことです。1口1,000円の会費は「福祉のまちづくり」をすすめる上での貴重な財源です。「地域の役に立ちたいけれど、仕事が忙しくて…」という方も賛助会員になることで地域福祉に貢献することができます。社協の事業は皆さんに支えられ成り立っています。ぜひ賛助会員にご加入ください！

編集後記

社協ニース49号は、カラー仕上げで「社協」の活動をご報告し、我々地域の生活・暮らしに少しでもお役にたてばと願い作成しました。久地小の挨拶運動のスローガンに「あいさつはみんなをつなげる心の輪」とあり、「地域」においても日頃のコミュニケーションが大切と教えられ、まずは挨拶の実行からと思っています。(T)

編集委員 田中 道彦、望月 正一、矢島真理子、
横山 滋、若林豊茂美